

新年度巻頭の挨拶 (一社)大阪府サッカー協会 新強化育成部長 大原克則

次回発行 1月予定

新しいシーズンが開幕いたしました。

例年、開幕前に研修会を開催していましたが、この度は諸事情により開幕後の開催となり、また、急遽の開催時間の変更となりましたが、多数の関係者の皆様に参加をいただき、講師に梅本S級インストラクターをお迎えし、観戦研修及びアドバンテージの解釈変更について、ご指導をいただきました。実りある研修会となりましたことに深く感謝を申し上げます。

さて、J-GREEN 堺の開設以来、大阪で開催される試合数は年々増加をし、今シーズンも開幕当初から数多くの派遣試合が組まれているところでありますが、アクティブ審判員各位のサッカーに注ぐ熱い情熱により、円滑に試合が進められていることに関しまして心強く感じています。

そして、開幕間もないところでありますが、本年度も既に1級審判へのチャレンジがスタートしています。プレイヤーズファーストの精神を基本として、各審判員がそれぞれに自らの目標を設定し、年間を通じて審判活動に真摯に取り組んでいただきたいと思います。

強化育成部につきましては、中川毅前部長の移籍に伴い、新体制となりました。今年度も審判員各位の目標に向けたサポートをしっかりと進めて参りますので、どうぞよろしくお祈りいたします。新しいシーズンにおける皆様のご活躍を祈念いたします。



新強化育成部長の大原氏

●開幕前研修に参加して (3級審判員 田代善弘氏)

4月7日の開幕前研修の試合の副審を担当させていただけることとなり、自分に与えられた任務をしっかりとやり遂げようという想いで試合に臨みました。いざ、試合が始まると強風が吹いていたため、予想以上にボールが風に戻されたり流されたりということが多々ありましたが、集中できた80分でした。

このような貴重な試合を担当させていただいたことにお礼を申し上げるとともに、この経験を今後の審判活動に活かしていきたいと思っています。

(左)梅本インストラクターによる講義、研修に参加する審判員の様子



●2級研鑽会(2/16開催) (2級審判員 光田智乙氏)

この研修に臨むにあたって、「2012シーズンの振り返りと2013シーズンに向けて」というイメージで入りました。

審判の意義という部分で、「競技の番人」として審判は何を守るのか?という興味深いレクチャーがあり、普段あまり深く考えない審判の根本の部分はこの時期に考えることが出来、良い機会になりました。

続いて、昨年までJリーグの副審を担当されていた森本洋司氏から副審についてのレクチャーとプラクティカル講義を受けました。Jリーグでの経験が豊富な森本氏の一つ一つの言葉は的確で説得力があり、あまり副審が得意ではない私としては大変勉強になりました。

個人的に2013シーズンは勝負の年と思っているので、そのシーズン開幕前としては充実した素晴らしい研鑽会になったと思います。

最後に、このような機会を設けていただいた大阪府サッカー協会の関係者の皆様にご場をお借りし、感謝申し上げます。ありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。

研修後の集合写真。後列右から4番目が光田氏。



【強化育成部からのお知らせ】

2013年度に入り大原新部長を筆頭に強化育成部のメンバーも変更がありました。以下のメンバーで審判員のための強化育成部として活動してまいりますのでよろしくお願い致します。

- 部長： 大原 克則
- 会計： 福井 英三 強化 森本 洋司
- 育成： 岩橋 寿明 ユース 塩見 哲也
- 女子： 黒島 有希
- スタッフ： 大橋 忠仁、篠原 隆治、北村 修一、神谷 遼平、
 寺本 浩史、和田 雄次、野口健太郎、真殿 三加、
 近田智恵美、湯尾 智頭

強化育成部今後の予定

- 5/23 (木) 指導育成勉強会 (大阪協会)
- 6/1 (土)、2 (日) ユース審判員研修会 (J-Green 堺)
- 6/未定 指導育成勉強会 (大阪協会)
- 7/未定 指導育成勉強会 (大阪協会)